



Matsunaga Head Line News

[マツナガ・ヘッドライン・ニュース]

〒339-0043 埼玉県さいたま市岩槻区城南五丁目6番6号 TEL:0120-980-633 FAX:048-798-0075

MATSUNAGA 感動創造建設会社

2022年5月発行 発行元:松永ホールディングス 発行人:松永大祐
www.matsunaga.gr.jp

2022 May Vol.48



レジリエントな 街をつくる

すべてはお客様の感動を創造するために

CONTENTS

[INTERVIEW] インタビュー

P3 株式会社関商店 代表取締役社長 吉田潤様

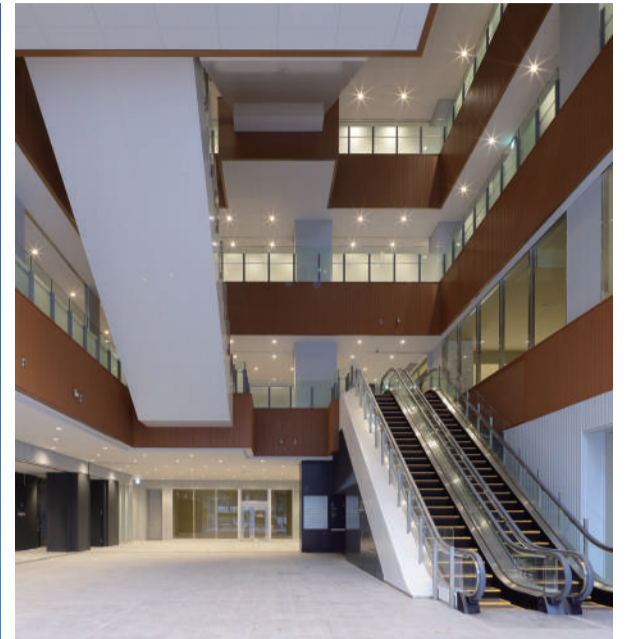
P5 松永都市開発株式会社

[PROPERTY] 竣工物件

P2 大宮駅東口大門町2丁目中地区第一種市街地再開発事業 / 主要地方道大宮停車場線外1路線道路

P4 GRAND RESIDENCE GAKUGEI DAIGAKU / Urbanex MINAMI SHINAGAWA II / 曙ブレーキ岩槻製造

PROPERTY [竣工物件]



▶ 大宮駅東口大門町2丁目中地区第一種市街地再開発事業 ◀

〈発注者：大宮駅東口大門町2丁目中地区市街地再開発組合 様〉

DATA

- 建設地：埼玉県さいたま市 □ 構造：地上18階／地下3階
- 用途：商業／業務／公共公益施設／駐車場・駐輪場等 □ 敷地面積：約8,600㎡ □ 延床面積：約81,600㎡



▶ 主要地方道大宮停車場線外1路線道路整備工事、他 ◀

〈発注者：大宮駅東口大門町2丁目中地区市街地再開発組合 様〉

DATA

- 工事場所：埼玉県さいたま市

INTERVIEW [インタビュー&竣工物件]

貴重な国産燃料である「RPF」を、より多くの企業へ

株式会社 関商店

関商店はRPF(固形燃料)の第一人者だった

廃プラスチックや古紙といった産業廃棄物を、「RPF」と呼ばれる高品質な固形燃料に変える。その製造における第一人者が、茨城県古河市に本社を構える関商店です。

関商店では1991年、日本初となるRPFの製造工場を館林市(群馬県)に設立。CO2排出量の少ないRPFの需要が増える中、事業規模を拡大させてきました。そこで注目されたのが、関商店が製造するRPFの品質と供給体制です。代表取締役社長の吉田潤様によると、関商店はRPFの製造で国内トップクラスの生産量を誇っているそうです。

「安定した供給体制については高い評価をいただいています。RPFの品質は一般に塩素の含有量で決まり、JIS規格では0.3%以下に定められていますが、弊社ではその基準を大きく下回る製品を供給しています」(吉田社長)

こうして事業を拡大する中で大きな役割を果たしたのが、国内最大級のRPF生産拠点となる茨城工場でした。当時、関商店の本社は久喜市(埼玉県)にありましたが、業務の連携を図るために、本社機能を茨城工場に移転する計画が立てられます。そこで、工場の敷地内にあった建屋の建て替え工事を担当することになったのが松永建設でした。

工場を止めずに新社屋を作る、そして竣工へ…

建て替え工事にあたり、吉田様には2つの希望がありま

した。それが、「建物の動線を変えないこと」と、「会議室を増やすこと」です。さらに、工事中も工場の生産ラインは稼働し続けるため、業務を妨げない配慮も必要でした。

このため、建設現場では現場監督が工場側の担当者との連絡を密に取り、搬入搬出などの業務に支障が出そうな工程がある場合には、それをいち早く伝え、終わらせるように最大限の配慮を行いました。これにより、生産ラインを止めることなく工事を続けることができ、吉田様も「業務に大きな支障はなかった」と話しています。

そして、2021年12月、新社屋の竣工を迎えます。完成した建物を見て、「雰囲気よくなった」「気持ちよく仕事ができそう」などと、多くの社員が笑顔を見せていました。

「個人的には入り口のひさしが、すごく気に入っているんですよ。お客様からも『カッコいいですね!』なんて、お褒めの言葉をいただいています。動線も従来と変わらないので使い勝手が良いですし、会議室の数も倍に増えたので役に立ってくれそうです」(吉田社長)

茨城工場では現在、耐震補強を予定しており、その工事を松永建設が計画しています。今後もどのようにして関商店の皆様にご満足いただくか? その戦いはまだまだ続くことになりそうです。

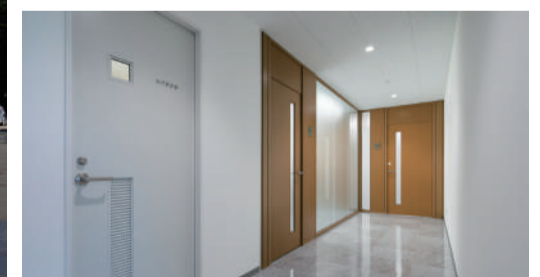


吉田潤様

Jun Yoshida
株式会社関商店 代表取締役社長

PROFILE (プロフィール)

2011年、関商店に入社。取締役、副工場長、常務取締役を経て、2018年に代表取締役就任。RPFの存在価値を高めるべく、高品質・安定供給を追求し続けている。



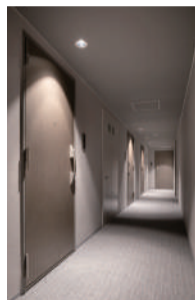
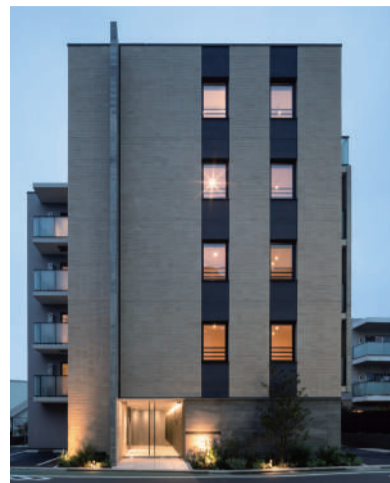
▶ 株式会社 関商店 茨城工場事務所 ◀

(発注者: 株式会社 関商店 様)

DATA

□ 建設地: 茨城県古河市 □ 構造: 構造:S造 地上2階 □ 用途: 事務所
□ 建築面積: 229.93㎡ □ 延床面積: 432.00㎡

CIVIL ENGINEERING [土木物件]

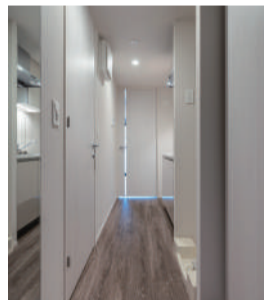


▶ GRAND RESIDENCE GAKUGEI DAIGAKU ◀

〈 発注者：株式会社モリモト 様 〉

DATA

- 建設地：東京都黒区 □ 構造：WRC造 地上5階 □ 用途：共同住宅
- 建築面積：217.69㎡ □ 延床面積：970.65㎡



▶ Urbanex MINAMI SHINAGAWA II ◀

〈 発注者：株式会社モリモト 様 〉

DATA

- 建設地：東京都品川区 □ 構造：RC造 地上9階 □ 用途：共同住宅・店舗
- 建築面積：217.36㎡ □ 延床面積：1,351.07㎡



▶ 曙ブレーキ岩槻製造株式会社 本工場屋根外壁改修工事 ◀

〈 発注者：曙ブレーキ岩槻製造株式会社 様 〉

DATA

- 施工地：埼玉県さいたま市
- 工法：【屋根】カバー工法(カラーガルバリウム鋼板)9,120㎡
【外壁】カバー工法(カラーガルバリウム鋼板)2,837㎡

INTERVIEW [インタビュー]

建物への知見を活かし、オーナー様の期待に応える

松永都市開発 株式会社

建物を知り尽くした物件管理のエキスパート

松永都市開発は、アパートマンションや駐車場の賃貸管理を行う会社です。管理業務と仲介業務のそれぞれについて、専属の社員が対応しています。

このうち、アパートマンションの賃貸管理については、約1,600戸の物件についてオーナー様と管理委託契約を結び、入居者の募集や各種メンテナンス、室内改装などを行っています。その上で、入居希望者からの応募があった場合には、賃貸借契約書を結び、入居審査や家賃の集金なども一手に引き受けています。

一方、駐車場の賃貸管理においては、約3,000台規模の駐車場を管理。利用者の募集を行うとともに、利用者の方の契約更新や車庫証明書の発行といった手続きの代行を行っています。

成澤勇人統括グループリーダーによると、さいたま市岩槻区を中心に、資産管理会社として長年にわたり地元資産家の方々から信頼されて今日に至り、コロナ禍の影響で最近では開催が延期されていますが、地元資産家の方々を中心に不動産活用友の会も運営。税制、不動産業法などの勉強会や懇親会を開催するなど地域に密着した事業展開を行っているとのこと。このため、オーナー様に満足いただけるよう、あらゆるご相談に対応できることが強みになっています。

「さらに、松永建設のグループ会社であることから、建物について知り尽くしていること。建設にあたり、立地などを踏まえた市場調査を行っており、オーナー様により現

状に即したリアルな提案ができることも、弊社ならではの特徴と言えます」(成澤統括GL)

「本格的なエリア拡大も視野に展開」

令和2年の国勢調査(確報値)によると、埼玉県の人口は732万9,516人と増加傾向にあり、地方からの人口流入が続いています。このような状況を受けて、成澤統括GLは、大宮、浦和などさいたま市内全域への事業拡大と、松永建設のエリア拡大により、最近では大宮や浦和の案件受託のみならず、都内案件をも受託し、本格的なエリア拡大も視野に展開を計画しているそうです。

「大宮や浦和では、オフィスビルやテナント付マンションといった様々な形態の管理受託も想定しています。さいたま市全域に進出することで、ノウハウを蓄積し、様々なご相談に対応出来る環境を構築していきたいですね」(成澤統括GL)

この計画に向けて、松永都市開発では業務システムの導入を進めることで、業務上での社員の負荷を軽減。マンパワーに余裕を持たせることで、その余力をもって事業拡大を進めていこうとしています。実際に駐車場の管理では、9割ぐらいの業務において、人的な労力を削減することに成功しました。

それに合わせて、成澤統括GLが進めているのが人材の育成です。店舗を率いる立場になって約半年、これまでは社内でのコミュニケーションの活性化に注力してきましたが、「社内の視野をさいたま市全域に広げ、事業マインドを高めたい」と話す成澤統括GL。今後の目標とその達成度を互いに確認する会議手法も取り入れて、事業拡大を目指し邁進します。



PROFILE (プロフィール)

1994年に松永建設に入社。
民間営業部・グループ会社の介護施設「安心リビング・サポート」のセンター長を経て、昨年8月からは統括グループリーダー。仲介、管理など各部署の業務を統括している。



TOPICS [トピックス]

2022年度入社式を執り行いました

4月1日入社式を執り行いました。松永建設グループの一員として5名の新入社員を迎え入れることができました。フレッシュでやる気に満ち溢れた新入社員とともに、全社一丸新たな気持ちで邁進してまいります。



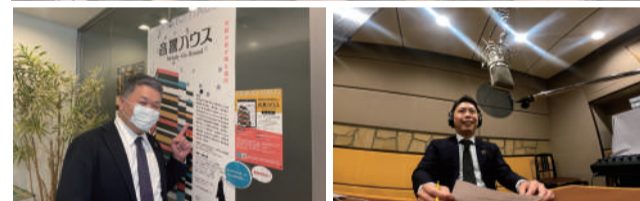
QRコードから入社式の動画がご覧いただけます。



松永建設グループのラジオCMをリニューアルしました！！

FM NACK5(79.5MHz)にて月～金曜日午前8時30分にお届けしている、松永建設グループのラジオCMをリニューアルしました。今回のラジオCMも前回同様、松永社長を始め、表彰者を中心とする社員が皆様の朝に元気な声をお届けしております。松永建設グループの新しいラジオCMをどうぞお楽しみください。

QRコードからラジオCM収録の動画がご覧いただけます。



COLUMN [コラム]

RACE REPORT SUPER TAIKYU 2022

松永社長の 男気コラム

[レースレポート特別編]

松永建設グループが応援する、片岡龍也選手率いるレーシングチームTKRI (Tatsuya Kataoka Racing Invitation) が、60周年を迎えた鈴鹿サーキットで開催されたスーパー耐久シリーズ2022開幕戦「SUZUKA5時間耐久レース」に参戦した。今年は最上位のST-Xクラスにステップアップし、新たにGT3車両のメルセデスAMG GT3を投入。ドライバーは2020年からのコンビに加えて、国内トップカテゴリーで戦ってきた中山友貴選手が加入し、強豪がひしめく最高峰クラスに挑戦する。

予選日の3月19日(土)は、雲が多いもののドライコンディションに。まずAドライバー予選では、2分05秒309をマーク。見事ST-Xでの初めての予選で4番手につけてみせた。さらに、続くBドライバー予選では、元嶋佑弥選手が小雨のバラつくなか、2分00秒118をマークしトップに。合算で見事3番手につけてみせた。さらに、Cドライバー予選では2分05秒372をマーク。2番手につけてみせる。フィーリングは非常に良く、TKRIとしては最高のST-Xでの船出となった。

迎えた3月20日(日)の決勝は晴天。ス

開幕戦鈴鹿で総合2位表彰台獲得!

—ST-Xクラスへステップアップ初戦での快挙—



タート完璧に決め、先頭集団のなかでラップタイムを刻んでいく。序盤から他クラスの車両のクラッシュがあるなど荒れ、他車のオーバーテイクには大いに気を遣う展開に。前半は無理なバトルをせず、安定したペースで周回を重ねる。中盤以降、TKRI 松永建設 AMG GT3 はタイヤを守りながらもアグレッシブな走り続け順位も上昇。トップ争いも照準に入ってきた。

レース終盤を迎え順位は3番手に。予選後、河野監督は「表彰台は獲っておきたい」と語っていたが、そのとおりの順位につけた。先行するトップ2台は激しく争いながら走っていたが、きっちりポジションを守り、残り1時間のレースを進めていく。そんななか123周目に1位走行中のマシンが他クラスのマシンと接触りタイヤ。これでTKRI松永建設AMG GT3は2位に浮上、そのままチェッカーを受けた。

チームは2位表彰台に喜びに沸き立った。特に以前の鈴鹿で苦戦を強いられたチームにとって、表彰台からの景色は格別なものとなった。次なる目標を見据えて、開幕戦を締めくくった。



QRコードからレースの予選/決勝の動画がご覧いただけます。

予選▶



決勝▶

